

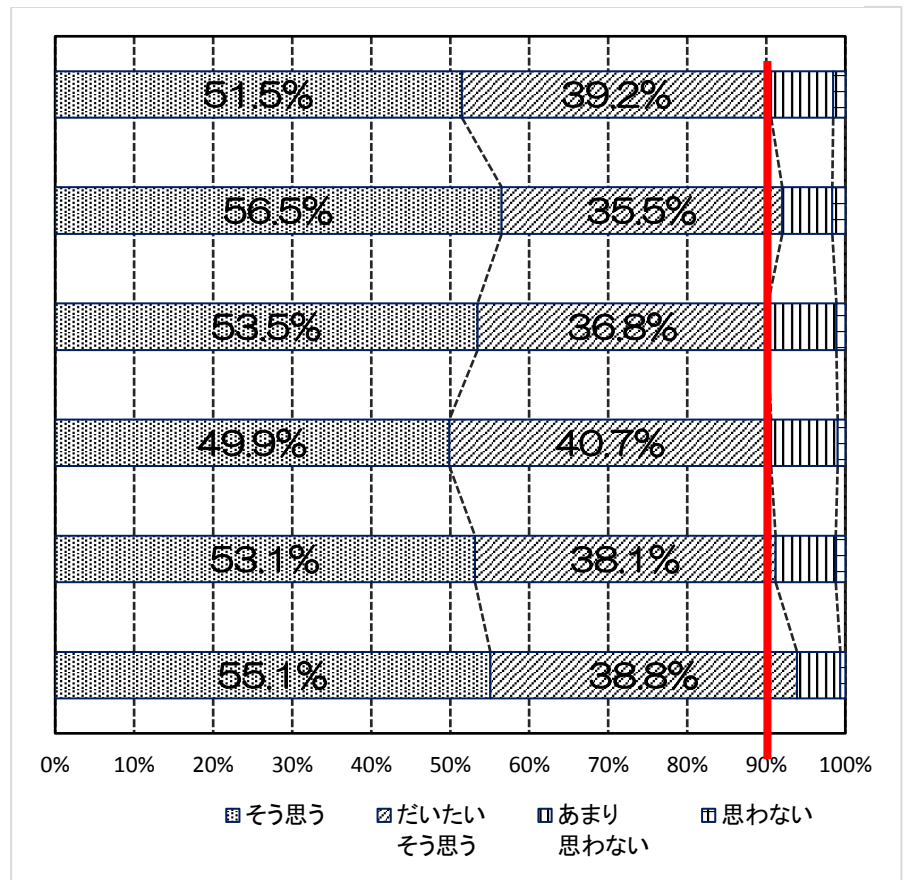
## 6. 学校の評価

### (1) 授業アンケートの結果〔平成30年度〕

1学期に実施しました『授業アンケート』の集計と分析についてご報告いたします。  
保護者の皆様にはご多用の中、ご回答いただきましてありがとうございます。

1. アンケート回答率 : 83.3%      2. 評価対象教員数 : 21名

1. お子さまは授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていますか  
【興味・関心・意欲の向上】
2. お子さまは、授業の内容が分かるようになっていますか  
【学習内容の習得】
3. お子さまは、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか  
【個の状況に応じた支援】
4. お子さまは、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか  
【望ましい学習集団の育成】
5. お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか  
【児童生徒への適切な評価】
6. お子さまは、「学習のきまり」をしっかり守るように指導されていると思っていますか  
【学習規律の定着】



### <結果の分析>

【成果】 ◇ 6項目すべてにおいて、肯定的評価（「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせた評価）が90%を超える結果となりました。【1. 興味・関心・意欲の向上】2.8、【2. 学習内容の習得】2.3、【3. 個の状況に応じた支援】3.1、【4. 望ましい学習集団の育成】4.6、【5. 児童生徒への適切な評価】4.2、【6. 学習規律の定着】1.4ポイントと全項目で昨年度より肯定的評価が上昇しました。『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業を行い、常に『授業改善』を図ってきた成果であると考えます。特に昨年度の授業アンケート結果から喫緊の課題としていました【4. 望ましい学習集団の育成】におきましては、肯定的評価の伸び率が6項目で一番となり、「思わない」の割合も4.7%から1.0%へと減少しました。このことにつきましては、本年度4月から全学年で『聞き方 あいいうえお』『話し方 かきくけこ』の掲示物を教室やろうかに掲示し、取組を進めていることもこのような高い評価をいただいた要因であると考えます。児童もこのことを意識し、各学級の授業の様子、集会や行事など児童が集まった時の様子を見ましても、しっかりと話を「聞く」ことを頑張っています。「聞く」ことは、学習することはもちろん、学校生活・集団生活する上での根幹になることであると考えます。今後も教員の指導力を向上させ、よりよい学習集団・学習環境づくりに全校体制で取り組みを進めてまいります。

【課題】 ◆ 【3. 個の状況に応じた支援】の項目について、肯定的評価が伸びましたが、9.4%と1割近くの保護者の方が否定的評価（「あまり思わない」「思わない」をあわせた評価）とされています。「わからない」ことを「わかる」ように、「できない」ことを「できる」ようにすることが学校、教員の使命だと考えます。授業中の机間指導をより積極的に行い、これまで以上に一人一人の児童の状況・実態の把握に努めるとともに、通常の授業はもとより、算数科（3～6年）での少人数・習熟度別指導及び、放課後学習の『SGK(招提学習教室)』の充実に努め、児童へのよりきめ細かな指導を行ってまいります。

☆ 本校教員は、子どもたちの「確かな学力」の定着と、よりよい授業に向けて、学年会等での教材・指導法の研究や外部講師を招いての研究授業、管理職による授業観察指導等を通じて、『授業改善』にこれまで全力で取り組んで参りました。これからも引き続き、また、さらなる充実にめざし取り組んで参ります。保護者の皆様には日頃からお子様に「家庭学習（宿題や自主学習）」をするよう働きかけていただきまして感謝申し上げます。今後もご支援・ご協力のほど何卒よろしく願いいたします。☆